

としょかん

いわて

岩手県立図書館報

2022.3 No.190



## contents

### 目次

ページ

02

#### 新型コロナウイルス感染症に係る取り組み

岩手県立図書館の取り組み

06

#### 県内図書館の活動紹介

一戸町立図書館

08

#### レファレンスコーナー

- ・ヴォルテールの名言「君の考えには反対だが、意見は保障する」の出典について
- ・岩手県立図書館が昭和時代に開設したという「海浜図書館」について知りたい。

10

#### 児童コーナー わかば通信

ふふふ どんな かお

11

#### 図書館掲示板

第62回岩手の読書週間

# 新型コロナウイルス感染症に係る取り組み

— ここでは、県立図書館の取り組みをご紹介します —

## 岩手県立図書館の取り組み

### 感染症拡大防止の為に講じた対策

2020年から、国内で新型コロナウイルスの感染者数が増加しました。その後、全国の図書館が感染症拡大防止のため対応に追われてきました。2022年3月現在もまだ感染症の蔓延は収まっていません。

ここでは、これまでに岩手県立図書館が行ってきた、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための取り組みの一部をご紹介します。

#### 1. 緊急事態宣言による図書館サービスの制限

これまで岩手県立図書館は、国や県の緊急事態宣言の影響で、2度、図書館サービスの制限期間を設けました。

この期間中は、利用者は図書館内には入館できないこととし、電話または臨時の受取窓口のみでの対応としました。



図書館入口に設けた臨時の受取窓口

#### ■1度目：2020年4月25日～5月6日

日	数	12日間
臨時窓口に来た人の数		420人
貸出点数（うち宅配）		1,113(30)点
貸出者数（うち宅配）		33(7)人

#### ■2度目：2021年8月16日～9月17日

日	数	33日間
臨時窓口に来た人の数		1182人
貸出点数（うち宅配）		2824(15)点
貸出者数（うち宅配）		846(6)人

この2度の図書館サービスの制限期間中は、以下のサービスを行いました。

#### (1) 事前予約による貸出

長時間の滞在による感染リスクを避けるため、利用者登録をされている方に限り、電話・メール・ファックス等で事前にご予約いただいたうえで図書等を貸出しました。

予約する際は、①書名 ②著者名 ③利用者名 ④利用者番号 ⑤受取方法(直接来館または送料利用者負担による宅配便)を添えていただきました。

直接来館して受取られる場合は、図書館入口に臨時の受取窓口を用意して対応しました。受付時間は、9時00分～16時50分としました。

所蔵確認は当館のホームページをご利用いただくか、電話等で受け付けました。

#### (2) 返却

アイーナの1階と3階にあるブックポストをご利用いただくか、送料利用者負担による宅配便で受け付けました。

#### (3) レファレンス

電話・ファックス・メール・ホームページのフォーム・郵便で受け付けました。

#### (4) 当館所蔵資料の郵送複写

当館の資料を著作権法で定められた範囲内で複写し、郵送でお送りする「郵送複写サービス」を行いました。

## (5)障がい者等へのサービス

当館の障がい者等サービスに登録されている方に、送料は当館負担で郵送貸出を行いました。

## 2.2022年3月現在行われている取り組み

2020年5月14日、公益社団法人日本図書館協会より、「図書館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」が公表されました。ガイドラインはその後更新を続け、現在は2021年10月19日版が最新となっています。

このガイドラインは、図書館における新型コロナウイルス感染予防対策を実施する際に参考となる基本的事項を整理したのとなっています。現在当館では、このガイドラインに基づき、以下のような対策を行っています。

### (1)閲覧席を減らす

利用者同士の距離を一定程度保つため、閲覧席の数を減らし、座席の間隔を広げています。



椅子を間引いた状態

### (2)共有機器類の利用制限

不特定多数の方が使用する機器の利用を制限しています。

インターネット用端末	一部停止
OPAC(蔵書検索機)	一部停止
電子資料用端末	2台中1台停止

### (3)スペースの閉鎖

長時間滞在することを防ぐために、映像資料を視聴するブースの利用は、1人1日1回まで、としています。

## (4)換気

空気の循環を促すため、普段は閉めてご利用いただいている「児童図書研究室」「調査研究室」の扉を常時開放しています。

## (5)手洗いおよびマスク着用等のお願い

当館を利用する際の、手洗いの徹底やマスクの着用などをお願いしています。また、ご自身でも感染症予防に努めていただくようお願いするしおりを配布。館内での滞在時間の短縮、窓口での対面対応時間の短縮へのご協力もお願いしています。

新型コロナウイルス感染症拡大防止にともなう若手県立図書館からのお願い

### 長時間のご利用はご遠慮ください

- ① 借りたい本は事前検索**  
長時間滞在をさけるため、お借りになりたい資料は、事前に検索してからご来館ください。
- ② レファレンス・調べものは窓口以外を活用**  
利便での対応時間を短縮しています。以下の方法をご活用ください。  
電話 FAX メール 郵送
- ③ 手洗いおよびマスクの着用**  
ご利用の際は、手洗いの徹底、マスク着用にご協力ください。  
■ご自身でも感染症予防に努めていただくようお願いするしおりを配布しています。  
■カウンター職員もマスクを着用させていただきます。

▼当館では以下の取り組みを行っています▼

- ① 閲覧席の数を減らす**  
利用者同士の距離を一定程度保つため、閲覧席の数を減らし、座席の間隔を広げています。
- ② 共有機器類の利用停止**  
不特定多数の方が使用する機器の利用を制限しています。
- ③ スペースの閉鎖**  
混雑に多数の方が長時間滞在することを防ぐため、一部のスペースを閉鎖しています。
- ④ 換気**  
空気の循環を促すため、普段は閉めてご利用いただいていた扉を常時開放しています。

若手県立図書館

現在館内に掲示しているポスター

## ■図書除菌機の導入

コロナ禍で衛生意識が高まる中、不特定多数の利用者が触れる図書の衛生確保を図り、利用者の皆様に安心して図書館資料をご利用いただくため、2020年12月から、館内に図書除菌機を設置しました。

この図書除菌機の設置は、新型コロナウイルス感染症拡大をきっかけに、全国の図書館に普及が進みました。





## 感染拡大防止対策をきっかけとして生まれたサービス

コロナ禍以前に計画していた催事等は、次々と延期や中止を余儀なくされました。そのような中で、図書館サービスを行っていきにはどうしたらよいか。模索する中で感染拡大防止対策に配慮した様々なサービスを考案しました。

ここに、いくつかご紹介します。

### 1.いつでも どこでも おはなし会

感染拡大防止対策のために、おはなし会はしばらく中止となっていました。おはなしを楽しみにしてくれている子どもたちのために、感染拡大防止対策に配慮しつつ、おはなし会の雰囲気を楽しんでもらおうと考えたのが、おはなし動画の配信でした。著作権にも配慮し、民話や昔話を基にスタッフでおはなしを編みなおしました。登場人物やセットは手作りです。いつでもどこでも気軽に見ることができるよう、動画の時間は3分～5分程度と短いものにし、You Tube で配信しました。

第1回目の配信は、2020年8月9日でした。その後もおはなしは追加されています。



いつでもどこでもおはなし会動画の一場面



撮影風景

### 2.出前見学会

コロナ禍以前の当館への施設見学は、学校等を含め133件3,513人(平成元年度の統計)ありました。しかし、感染症拡大防止のため、大人数の受け入れが難しい状況となりました。そこで、県内の学校を対象に、当館のコンシェルジュが出向いて図書館を案内する出前見学会を始めました。図書館の利用方法や本の並び方、普段は図書館職員しか入ることができない書庫についてなど、施設見学の案内と同等の内容を、パワーポイントをスクリーンに投影し、学年に応じた内容で説明します。要望により、絵本の読み聞かせや、ビブリオバトル、質問コーナーなども行っています。



出前見学会の風景

### 3.ウェブ企画展

図書館サービスの制限期間中は、利用者は入館できないこととしていました。そのため、図書館4階の企画展示コーナーで開催している企画展は、その間ご覧いただくことができなくなってしまいました。また、コロナ禍の中で不要不急の外出を控えなければならなくなり、コロナ禍以前に比べ来館者が減少しました。企画展は来館しないとご覧いただけませんでした。そこで、来館しなくても企画展の内容を提供できるよう、ウェブ企画展というものを用意しました(過去には、企画展「いわての歴史シリーズ」「世界の平泉へ」でも同様のウェブ企画展を行いました)。当館のホームページから、企画展の内容をご覧いただける内容となっています。企画展示コーナーに並べている解説パネル、展示会場の写真、展示資料目録をご覧いただくことができます。展示資料目録は、ウェブOPACとリンクが繋がっており、すぐに書誌を確認することができるようになっています。

ウェブ企画展は、遠隔地で来館が難しい県民や、県外へも提供できるサービスとなりました。



当館ホームページ内のウェブ企画展

#### 4. セット本の貸出

図書館の滞在時間を短縮できるようにと始めたのが、セット本の貸出でした。図書を5冊集め紙袋の中に入れ、テーマを表記したものを並べることで、利用者が選んだり探したりする手間を省けるように、気になるテーマの本を簡単に手早く借りられるようにしました。普段は選ばないような図書も楽しめるというご意見もいただきました。



セット本の展示風景

#### 5. 外へ飛び出せ！おはなし会

感染者数が増加する中で、おはなし会を開催するには、「密集しない」「密接しない」「密閉しない」など、いくつかの課題がありました。それらをクリアするために考え出したのが、屋外で行うおはなし会でした。

しかし、屋外でも参加者同士は1m以上離れなければなりません。そこで、ご家族ごとに読み聞かせ用のブースを3カ所設けて行いました。時間も10分程度としました。

感染者が出た場合に保健所等と情報を共有するため、参加者の連絡先の記入用紙を用意。アルコール消毒液も設置しました。

屋外は、天候に左右されるのが難点です。雨天の際は屋内で開催できるよう、換気しやすい部屋を用意。幸い当日は好天に恵まれ、屋外で開催することができました。

風が強く吹いたり、新幹線等の音がしたり、屋外に適した声の大きさが必要だったり、屋外ならではの難しさがありました。しかし、参加者たちは、解放感を味わいながら、いつもとは違うおはなし会を楽しんでくれていたようです。



屋外でのおはなし会

#### 最後に

2022年3月現在、新型コロナウイルス感染症の収束の見通しは立っていません。

これからも、感染症に限らず、災害など様々な環境の変化に対応しながら、図書館サービスの模索は続きます。



# 県内図書館の活動紹介

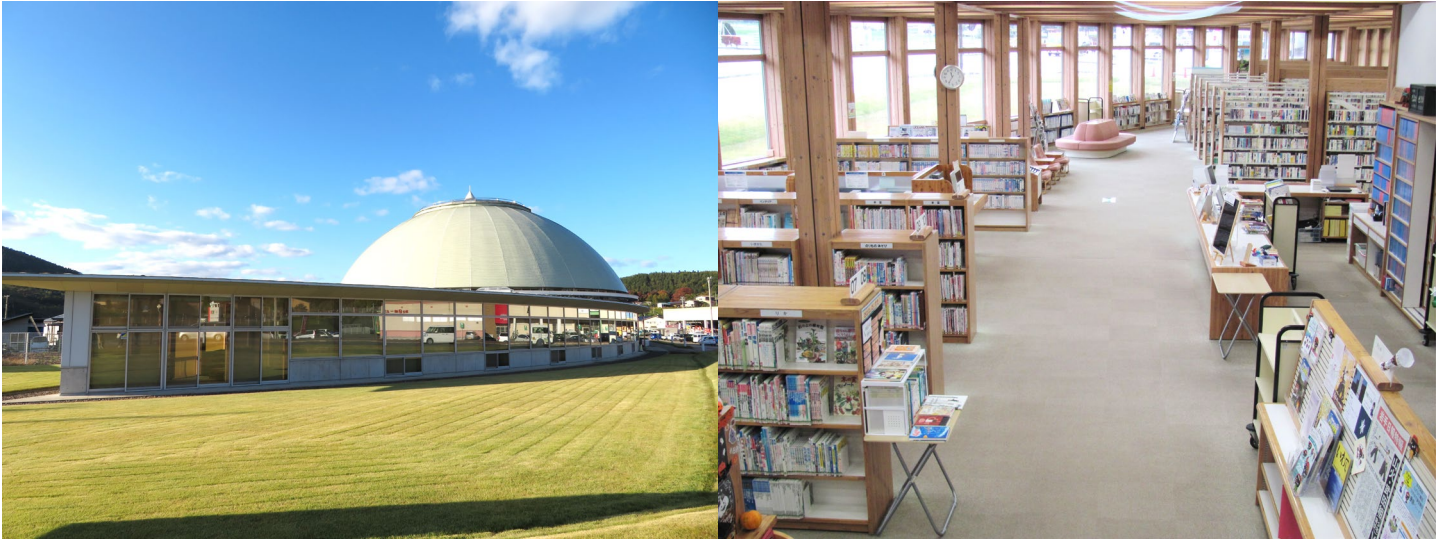
— 県内各地の図書館から特徴と活動をご紹介します —

## 一戸町立図書図書館

所在地：〒028-5312 一戸町一戸字砂森 117-2

TEL: 0195-31-1400 FAX: 0195-31-1888 Email: lib.ichinohe@ichi-culture.jp

現館建築年月：平成 14 年 3 月 延べ床面積：608 ㎡



図書の蔵書冊数： 94,034冊 (令和3年4月1日現在)

年間来館者数： 56,795人 (令和2年度)

年間登録者数： 209人 (令和2年度)

開館時間	平日：午前10時00分～午後7時00分 土日祝日：午前9時00分～午後6時00分				
休館日	・月曜日（祝日の場合は翌日） ・年末年始（12/29～1/3） ・蔵書整理期間				
登録範囲	・居住範囲の制限はなし（国内に住所がある方のみ）				
貸出点数・期間		点数(点)	期間(日)	延長	
	図書	無制限	14	可	延長は1回までとする (予約資料は延長不可)
	視聴覚資料	2	7	可	



## 一戸町立図書館の特徴と活動

### はじめに

一戸町立図書館は、2002（平成14）年7月16日に開館し、今年で開館20年目を迎えます。岩手県産木材を使用した木のぬくもりがあふれる内装で、「ホっとする雰囲気があるね」といまだにありがたいお声をいただいています。外観をみて「あのドームに本が並んでいるの??」とワクワクした目でよく質問されますが、残念ながら違います。図書館は、コンサートホールや会議室を兼ね備えている複合施設・一戸町コミュニティセンターの一角にあり、三角形のユニークな形をしています。（前頁写真の芝生付近）

### 運営について

一戸町は平成26年度から指定管理者制度を導入しており、特定非営利活動法人いちのへ文化・芸術NPOが管理運営を行っています。当館の理念は、「Ⅰ自立・自律への情報提供」「Ⅱ暮らしに役立つ身近な施設」「Ⅲ将来を担う人材育成」の三本柱です。

特に「Ⅰ自立・自律への情報提供」では、町民主体のまちづくりを目指していることから、自らが考え判断できるように多種多様な情報を提供するという意味を持っています。情報提供の一つとして、企画展示を常に13種類ほど並行して行っています。特徴的な展示「It's コーナー」は、毎朝『岩手日報』の新聞記事から、早番職員が注目のニュースをピックアップし（※岩手日報の記事の内容を要約し利用するにあたり、岩手日报社から許諾を得て転載しています）、関連資料とともに紹介するコーナーです。



↑ 毎朝更新！ It's コーナー（ニュース速報）

生活に密着した記事の日はよく借りられますし、カウンター脇に設置しているため、お客様とのちょっとしたコミュニケーションの場だったり、そこからレファレンスに発展したりと面白い効果を生んでいます。

職員は毎朝のニュースにアンテナを張って出勤しま

すし、記事に対して自館にどのような本があるか（多面的にみて選書する）を把握することもできます。そう、実はこの展示の裏テーマは、職員のスキルアップの場でもあるのです。

### 販わい創出のために

一戸町の基本理念の一つに「みんなが生き生きと繋がって販わいをつくり出しているまち」が掲げられています。図書館もその一翼を担うため、様々な事業を行っています。

2021（令和3）年度は、町民参加型イベントとして初めてPOPコンテスト（入賞者展示も）を実施しました。町民の皆さんの読書意欲が目に見える形で展示され、お客様からは「自分では選ばない本をおすすめしてくれるのはおもしろい。」と嬉しい声もいただきました。

毎年実施している地域おこし事業では、町の歴史や文化、産業について地域人材を招いて講座を開いています。今年度は「木でつくる風車工作教室」（木工会社とのコラボ）、「いちのへの食」（伝統食や飲食店起業について）、「わらべうた+工作教室」（いわて子どもの森とのコラボ）、「戦争と暮らし回顧展」（一戸の戦争体験記の展示）、「ミズキ団子づくり」（年中行事体験）など、コロナ禍ではありましたがいづれのイベントも大変盛会でした。



↑ 子どもの森とのコラボ みんな工作がだいすき♪

事業周知にはSNSを積極活用し、若い世代に向けた発信を行っています。一方で、町の広報誌や地元新聞への掲載なども大きく注目されます。図書館で面白いことやっているな、行ってみようかなと思ってもらえるような仕掛けづくりを考えて、図書館が暮らしに役立つ身近な施設として存在できるように今後も取り組みたいと思います。

イベントについてはHPをチェック→

SNSもフォローお待ちしております



（一戸町立図書館 担当：中村 緑）

# レファレンスコーナー

県立図書館に寄せられたレファレンスの事例を紹介します。

## 【質問】

ヴォルテールの名言「君の考えには反対だが、意見は保障する」の出典について

## 【キーワード】

ヴォルテール 名言

## 【調査プロセス】

1. 名言・格言に関する辞典等を調査。(参照分類:159.8/388.8/813.4)  
探している名言は未掲載だった。
2. ヴォルテールは、18世紀フランス啓蒙主義の代表的思想家であることから、フランス  
故事・名句に関する資料を調査。『フランス名句辞典』に出典を確認。
3. 複数の典拠を提示するため、タレントイア、ヴォルテール関連資料も調査したが、名言  
に関する情報は未掲載だった。

## 【回答】

『フランス名句辞典』によれば、民主主義、そして言論の自由の大原則として有名なこの言葉は、イギリスのタレントイアによる評伝『ヴォルテールの友人たち』の中で、彼の言葉とされています。

“ Je ne suis d'accord avec ce que vous dites, mais je battraï jusqu'au bout pour que vous puissiez dire cela. (I disapprove of what you say, but I will defend to the death your right to say it.)

私はあなたの説には反対である。しかしあなたがそれを発言する権利は命をかけて擁護する。  
——S.G.Tallentyre, The Friends of Voltaire (タレントイア『ヴォルテールの友人たち』1907)

『ヴォルテールの友人たち』は、著作権切れ資料の電子化と公開を行う電子図書館「The Project Gutenberg」より、全文閲覧が可能です。

○『The friends of Voltaire』by S.G. Tallentyre Smith, Elder, 1906

<http://www.gutenberg.org/files/56618/56618-h/56618-h.htm#I-i>

(インターネットへの最終アクセス:2022.1.22)

「作品の中での発言」という情報に、質問者はとても驚かれていました。  
名言の問い合わせは、多く寄せられます。いつ、どこで、誰が発言したのか、その背景を知ることで、スピーチや雑談などに役立つかもしれません。

## 【参考資料】 ※ ( ) 内は当館請求記号

・『フランス名句辞典』田辺 保/編 大修館書店 1991.4 (R/854/タ1/1)

・The Project Gutenberg

(<http://www.gutenberg.org/files/56618/56618-h/56618-h.htm#I-i>)

※ インターネットへの最終アクセス:2022.1.22

## 【質 問】

岩手県立図書館が昭和時代に開設したという「海浜図書館」について知りたい。

## 【キーワード】

海浜図書館 移動図書館

## 【調査プロセス】

1. 当館発行の記念誌等を確認。
2. 海浜図書館設置地域の市町村史等確認。
3. 図書館設置時期の新聞記事を確認。



## 【回 答】

岩手県立図書館は、今年の4月に創立100周年を迎えます。この長い歴史の中で様々な取り組みを行ってきましたが、その中に戦前の短い期間に行われた「海浜図書館」という図書館サービスがありました。

昭和5年（1930）7月より当館は岩手県初の試みとしてテント張りの海浜図書館を沿岸地域に開設。7月から8月にかけて高田松原（陸前高田市）、中野村海岸（現洋野町）、磯鶏村海岸（現宮古市）を巡り、海水浴客向けに選んだ図書約200冊の貸出を行いました。

当時の新聞記事を見ると利用者が殺到し好評を博していた様子がうかがえます。所によっては地元の青年団体が貸出とともにくじ引きを実施していたようです。この夏季期間の催事は館外奉仕の一環として行われたもので、移動図書館の先駆けともいえる画期的な取り組みでした。

『岩手県立図書館30年の歩み』にその海浜図書館の日程と場所の記載がありますが、昭和12年（1937）8月をもってこの催事は行われなくなります。海浜図書館が継続不能になった理由としては同資料、翌年昭和13年（1938）のページに、“軍事に重点を置く予算の緊縮から、図書館の悲鳴はこの年に入って極まったかの感があり、(略)”とあり図書館の運営が厳しくなったことが一因のようです。

現在はコロナ禍の真っ只中にあり海浜図書館が設置されていた時期と同じような先行きが不透明で心苦しい時代ですが、図書館サービスの原点や意義を見つめなおし次の100年へ繋いでいきたいものです。

## 【参考資料】 ※（ ）内は当館請求記号

『岩手近代教育史 第2巻』岩手県教育委員会 1981年 (K/372/1 4/3-2)

『岩手県史 第10巻』岩手県/編 杜陵印刷 1965年 (K201/1 3/1-10)

『岩手県立図書館30年の歩み』岩手県立図書館 1953年 (K016.1/1 1/4)

『岩手県立図書館のあゆみ 新館落成記念誌』岩手県立図書館 1969年 (K016.1/1 1/6)

『岩手日報』、『岩手毎日新聞』（マイクロ資料） 昭和5年7月29日 ほか



# 児童コーナーわかば通信

県立図書館児童コーナーの活動をご紹介します。



## ふふふ どんな かお

いつものようなイベントの開催が難しかった2021年のお正月、児童コーナーでは暗い気分を吹き飛ばそうと、お正月にぴったりな「福笑い」が体験できるイベントを開催しました。

「ふふふ どんな かお」と題して、たくさんの「顔」が出てくる本の展示コーナーを設置。本を借りると、中には遊び方を書いたチラシと、様々な顔のパーツが入っています。



中にはこんなパーツが入っています♪

パーツを取り出したら、壁に掲示してある顔の台紙の所へ。色々な種類の台紙があるので、その中から好きなものを選んで、空いている場所へパーツを貼ってもらいます。

どこにどう貼るかに決まりはありません♪好きなように貼って、みんなのセンスを爆発させてもらいました。



### 完成!!



たくさんの人にご参加いただき、こんなに素敵な福笑いが出来上がりました♪





# 図書館 掲 示 板

— 県立図書館からの連絡や告知をお届けします —

## 第 62 回 岩手の読書週間

### 読書推進標語・手づくり絵本入賞者、読書推進運動功績者

岩手の読書週間は、2月1日～14日までの“春を待つ、雪解け前の静けさの中で、本に親しもう”というスローガンのもと、岩手県独自の読書週間として昭和35年に設定されました。この期間中は読書週間を全県的に展開し、読書普及活動を行なっています。

読書週間期間中の主催行事として、令和3年度「岩手県読書をすすめるつどい」が2月5日（土）にアイーナで開催される予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け中止となりました。

手づくり絵本の応募作品は2月1日～2月9日まで県立図書館で開催した「第42回手づくり絵本展」で展示した後、一部作品を除き県内の図書館等で巡回展示が行われています。

最優秀賞、優秀賞、功績者は次の方々です。（敬称略）

#### 1 読書推進標語入賞者

**最優秀賞** 『待ち合わせ 本と一緒に 君を待つ』  
菊地 理暉（岩手県立水沢高等学校2年）

**優 秀 賞** 『読んだあと 親子でにっこり いい時間』  
荒川 蓮（二戸市立石切所小学校4年）  
『変わりたい 私は今日も 本を読む』  
伊藤 璃里（盛岡市立北松園中学校2年）

**奨 励 賞** 『大すきな本とかぞくがたからもの』  
工藤 歩由（八幡平市立平館小学校2年）

『しおりと私 二人三きやく 文字の道』  
藤田 あかり（滝沢市立滝沢第二小学校3年）

『本開く 未知なる世界へ 道広げ』  
今野 葉月（大船渡市立越喜来小学校6年）

『毎日の 一呼吸に 文章を』  
石塚 真桜（花巻市立湯口中学校2年）

『本読んで 心の免疫 高めよう！』  
渡部 友晴（陸前高田市 スクールカウンセラー（44））

『巣ごもりであふれる本に磨かれる』  
長澤 智子（宮古市 主婦（69））

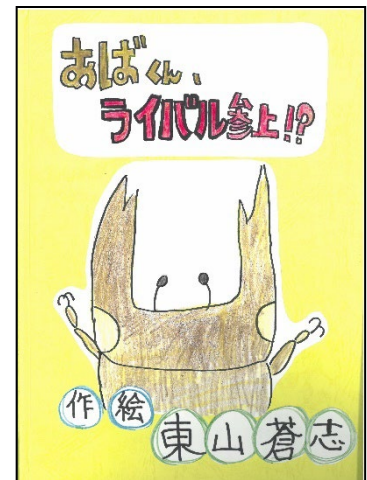
『生きて行く 節目で本に 背を押され』  
長澤 寛（宮古市 無職（73））

### <子どもの部>

#### 最優秀賞

『あばくん、ライバル参上!?!』 東山 蒼志（二戸市立仁左平小学校5年）

くわがたくんシリーズは、前回にひき続いて三作目でした。今回、作者の東山さんは事実を観察するだけでなく、くわがたくん達の会話を想像して絵本にしてくれました。ある夏の暑い日、くわがたのあばくんがゼリーを食べていると、ゆうちゃんが飼っているくわがたのみやじんを連れて遊びに来ました。そして、あばくんとご対面。あばくんとみやじんの勝負が幕を開けました。まずは大きさ対決。体の大きいみやじんがあばくんに勝利します。次はどっちが長くとべるか対決。今度は体の大きさがアダとなり、あばくんの勝利。最後はありさんが提案した足ぶみ対決。どちらも疲れ果てるまで足ぶみし続け、あきらめないお互いの姿にいつしか友情が芽生えます。白の余白を効果的に使い、二匹のくわがたを見開きに大きく入れ、力強いタッチでくわがたのたくましさ表現できました。



#### 優秀賞

『3びきのたんけん』 平藤 花（花巻市立笹間第一小学校2年）

作者の平藤さんは、折り紙や包装紙をたくさん使用し、切り絵でストーリーを表現しました。切り絵での表現は、時間もかかった大変な作業だったと思いますが、細部まで丁寧に作り込んでおり、えんりちゃんの布団は紙袋を利用するなど工夫が見られました。

またストーリー展開が2部になっており、最初はえんりちゃんの好きな絵本の紹介、次はえんりちゃんが寝た後に絵本の中の登場動物たちがえんりちゃんの現実にとび出して、お部屋を探検する、という内容で進んでいきます。最後は動物達が、えんりちゃんのベッドの下でママがなくなった指輪を見つけて、ハッピーエンド。特に、絵本からえんりちゃんの部屋に動物達が出てくるところがとても可愛らしく、読んでいて幸せな気持ちになりました。

『友のぼうけんシリーズ 08 月にかかる虹の上で』 長谷川 友信（北上市立北上中学校1年）

シリーズも、遂に八作目。中学生になっても絵本製作を続けてくれていることに、とても嬉しくなりました。毎回、これまでにでてきたキャラクター達が伏線のようにチラリと見えて、一作目から再度読み返したくなります。それくらい登場人物の設定・構成がしっかりある中で、ストーリーが展開していきます。今回は、亡くなったと聞かされていたお母さんからの手紙が届き、その内容に従って虹の橋を渡っているが幽霊宇宙船アポロに攻撃されてしまいます。万事窮す……

と、そこへ海賊船やオキアミ空挺団が現れ、少年は助けられます。なんと海賊船に乗っていたのは、行方不明だったお父さん。少年はお父さんと2人で虹の橋を渡り、お母さんと再会するのです。特に、オキアミ空挺団がアポロを撃退する場面の絵の迫力と構成力に圧倒されました。

『お・す・そ・わ・け』 長谷川 野ノ花（北上市立黒沢尻西小学校3年）

主人公の女の子が育てたブロッコリーをうさぎさんにおすそわけするところから、ストーリーが展開していきます。うさぎさんはステキなブロッコリーをもらったお返しに、おうちでお茶をごちそうし、おみやげにニンジン女の子にプレゼント。今度はおうまさんに出会い、ニンジンをおすそわけ。そのお礼にと、おうちで遊びおみやげに玉ねぎをプレゼント。今度はねずみさんに出会い、玉ねぎをおすそわけ…と話は続いて行き、同様にあらいぐまさん、うしさんに出会いおすそわけしていきます。最後は、たくさんのもらった野菜でみんなが大好きなクリームシチューを作りました。リズムカルにストーリーが進み、そのストーリー毎に描かれる動物達の家の間取図が、動物の生活毎に細かく設定されており、読んでいて「次は誰と出会うのかな？」とワクワクさせられました。お話に出てくる赤ちゃん、お姉ちゃん、妹たちの表情が豊かに描かれ、楽しさが伝わってくる素敵な作品です。

## <一般の部>

### 最優秀賞

『くるみ』 宮澤 まさ子（盛岡市）

くるみの実は大きな木の下でひろいます。かたいみどりのなかにかくれています。

ひろったくるみは、外のむしろに広げておきます。みどりの皮が黒くなりくずれてとれやすくなります。黒くなった皮をたわしで洗います。ざるに入れてかわかします。風通しのよいところにつるしておきます。食べるときはかなづちでわってから食べます。おつまみ、くるみせんべい、くるみケーキ、くるみもなか、くるみようかんにしたりします。すりこぎですってくるみもちにすることができます。

くるみをひろって、食べるまでをすてきな絵で表現しています。実際にくるみひろいを体験しなくてもよくわかる絵本に仕上がっています。



### 優秀賞

『マイル競馬に参加した三ツ石と鬼の手形のお話（バージョンⅡ）』 中尾 美知子（盛岡市）

岩手のおこり、鬼の手形のお話は、皆さん知っていると思います。

三ツ石のばばさんは、マイル競馬に参加してパッカパッカと風をきり喝采をあげたら、どんなに楽しいことだろうと思っていました。若葉の美しい日曜日小岩井の野では着飾った馬たちがスタートを待っていました。

見事なタッチで描かれた絵は、舌を巻きました。発想の豊かさ、マイルレースで活躍したばばさんは、すっかりごきげんです。

工夫してほしいのは表紙です。製本の仕方です。

『みえちゃんのお母さんの物語』 阿部 三枝（一関市）

87歳の米寿のお祝のためつくった作品です。82歳まで料理屋を営んでいたお母さん。19歳くらいの頃平泉の料理屋につとめ、鳴子に遊びに行き芸者さんにスカウトされ独立しお父さんと結婚。

お母さんの料理は、まぐろの山かけ、ホタテグラタン、鶏の照り焼き、サケのクリームソース、どんこの田楽等々、絵は見事なタッチで描かれています。

アボカドが大好きなお母さん。スーパーに行っても小さな子たちに「何年生？」「何買ったの。」と楽しそうに話しかけています。

すてきなプレゼントに仕上がっています。

『あま〜いごほうび』 千田 成子（一関市）

学校から帰ると、妹のこもりは、なるみの役目。

ある日、おじいさんから学校への手紙を届けるよう言いつけられます。

「みちくさしないで、気をつけて行っておいで」とお母さんが、キャラメルふたつをポケットに入れてくれました。村はずれのおじぞうさまの前で、手を合わせておまいりしました。おかいこさまのごはんになる桑畑をこえると学校が見えてくる。

「先生、お手紙どうぞ」「ご苦労さま。よく頑張ったね」先生からのごほうびは甘いかわり玉だよ。赤、青、オレンジといろいろな味に変わる。

このあめ玉大〜好き。さあかえろ！

えへ〜ごほうびもらっちゃったおいしかった。ただいま〜！

昭和20年くらいの子どもの時代へタイムスリップしました。

## <わかばの部>

### 最優秀賞

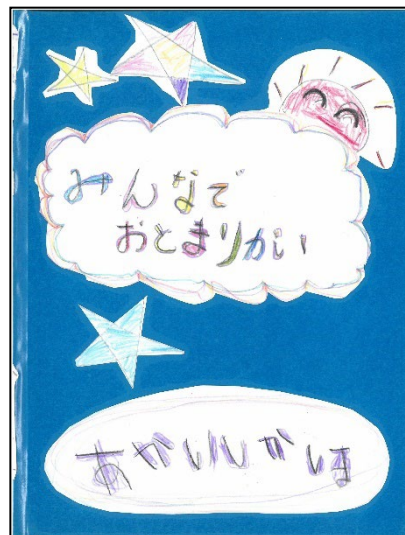
『みんなでおとまりかい』 明石 佳穂・明石 華梨 (葛巻町)

保育園のお友だちとチャーハンをつくって食べたこと、スイカわりをしたこと、暗くなって花火をしたこと、宝さがしをしてちょっぴりこわくなったこと……。

かほさんの保育園のおとまり会の様子を、順序よく上手に絵本に仕上げました。

ページいっぱいに、大ききのびのびと描いたすいかや花火の絵から、とても楽しかった様子が伝わってきました。また、たからばこを見つけたかほさんとお友だちの表情からも、本当にうれしかった気持ちが分かります。

「ママとパパがいなくてもおとまりできたよ」と喜ぶかほさんの成長が感じられる、素敵な作品です。



### 優秀賞

『かぞえてみて』 畠山 紅音・畠山 美幸 (一戸町)

もねさんは、数を数えるのがすきなんです。次のように、数のよび方から、すきな生き物や食べ物を絵に描いて、数えられるように工夫しています。

- |                |                                   |
|----------------|-----------------------------------|
| 1 (いち) → いぬ    | 2 (に) → にゃー → ねこ                  |
| 3 (さん) → さかな   | 4 (よん) → ひよこ                      |
| 5 (ご) → いちご    | 6 (ろく) → どんぐり                     |
| 7 (なな) → ばなな   | 8 (はち) → はっぱ                      |
| 9 (きゅう) → こうもり | 10 (じゅう) → テン (英語) → てん (テン) どうむし |

ワン、トゥー、スリーと、数を英語でも書いているのに感心しました。

どのページの絵も、数の分だけ1つ1ついいねいに描かれていて、色のぬり方も上手です。お家の人やお友だちといっしょに、絵を数えながら、くり返し読んでみたくなる作品です。

## 3 読書推進運動功績者

### ■宮古読み聞かせの会 ぞうさんのミミ (宮古市)

平成13年、広報に掲載した告知に賛同した9名により結成。長年にわたり学童の家や保育所、子育て支援施設等での読み聞かせ活動を行っており、市内の子どもの読書推進に貢献している。また、市民交流センターや市民文化会館などに絵本を設置する、被災地の子どもたちに読み聞かせをし絵本を届けるなど様々な活動を行っている。平成22年、子どもの読書活動優秀実践団体として文部科学大臣表彰を受賞。

### ■奥中山こひつじ文庫 (一戸町)

平成5年に約2000冊の蔵書を寄贈され、奥中山教会の一室を借り文庫室として有志3名により開所。文庫室は、平日は小学校の下校時、土日は近隣障がい者施設の職員と児童向けに開放しており、スタッフが交代で貸出や環境整備を行っているほか、地域の保育所・児童館・小学校の読み聞かせを毎月行い、28年間にわたり地域の読書活動推進に多大な貢献をしている。



岩手県立図書館報

# としょかん いわて

No.190

発行日 令和4年3月20日

編集・発行 岩手県立図書館